



私たちがお客様のもとへご訪問いたします。ぜひデルへご相談ください。

デルのソリューションプロフェッショナルが、現状把握・計画・設計・実装・運用管理と、経営・IT戦略や要件に沿ったソリューション導入をトータルにサポートします。

営業担当にお問い合わせください

お見積・ご注文・
お問い合わせはこちら

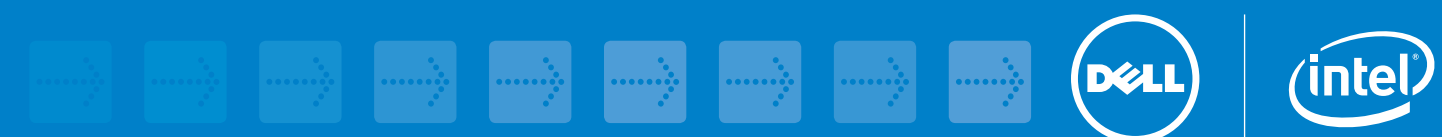
0120-912-118

●〈営業時間〉9:00~17:30 (土・日・祝日を除く)
●上記のフリーダイヤルまたは直接弊社の営業担当者までご連絡ください。



デル株式会社
CSMBセールス本部
川崎市幸区堀川町580番地
ソリッドスクエア東館20F

●製品の購入には当社の販売条件 (<http://www.dell.jp/smbpolicy>) が適用されます。●製品は、正式受注後、通常約10日~2週間ほどでお届けしております(お選びになった製品、構成内容、正式受注手続きの時期により納期が前後することがございます。予めご了承ください)。●返品・交換は、納品日より10日以内にご連絡いただいた場合に限りお受けいたします。但し、他社製ソフトウェアおよび周辺機器、Dell | EMCブランド製品、Dell EqualLogic ブランド製品、Dell Compellent ブランド製品、PowerVault ML6000 テープライブラリ、スペアパーツおよび消耗品の返品は受け付けておりません。●お客様のご都合による返品の場合、返品時の配送料およびご入金時のお振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。●当社物流センター出荷後、お客様のご都合により配送先を変更される場合は、別途同額の配送料を申し受けれます。●お支払は、(1)お客様が製品をご購入される場合、現金振込またはクレジットカード決済からお選びいただけます。お客様と弊社との間で別途の合意なき限り、製品またはサービスの代金は、製品またはサービスがお客様に引渡される前にお支払いいただきます。(2)デルリースをご利用のお客様については、月々のリース料はお客様の銀行口座より引落されます。なお、初回のみ1~2回目のリース料と合計した金額を同時に頂戴いたします。製品は、リース契約成立後に生産手続きを開始いたします。●リースのご利用は法人および個人事業主に限らせていただきます。また、リースは途中解約できません。●法人リース料の金額は事前の予告なく変更される場合があります。●記載されている内容、外観(モニタ含む)および仕様は予告なく変更される場合があります。●他社製機器およびソフトウェアはデル標準保守サービスの対象外です。●Vostro、DELLロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。●その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。



Solutions from Dell

デルが、成長期の企業の悩みをサポートし、成功へのお手伝いをいたします。

[Executive Vision]

信頼されるITソリューションを提供し、
お客様の成長を支える。

デル株式会社
代表取締役社長

郡 信一郎

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
代表取締役社長

石坂 信也

[Solutions]

05

モバイルソリューション

07

データストレージソリューション

09

システム仮想化

[Case Study]

11

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン

Exchange Server 2010を導入し

社内コミュニケーション基盤を刷新

デルのコンサルティングによるサポートで

信頼性／拡張性を有したシステムを実現



高性能
スマート

インテリジェント・サーバ・プロセッサ インテル® Xeon® プロセッサ 5600番台搭載の
Dell™ PowerEdgeサーバをご選択ください。

デル株式会社
代表取締役社長

郡 信一郎

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
代表取締役社長

石坂 信也

信頼される ITソリューションを提供し、 お客様の成長を支える。

成長戦略のキーワードとして“Trusted Advisor”を掲げるデルは、今大きな変革のときを迎えている。これまで以上にお客様の立場に立った、的確なITソリューションを提供するための施策とは。ビジネスパートナーでありプライベートでも交流のある二人に、経営者という立場からお話いただいた。

郡 信一郎

デル株式会社 代表取締役社長

1969年生まれ。横河メディカルシステム（現GEヘルスケア・ジャパン）等を経て2004年4月にデル入社。マーケティングディレクター、営業統括本部長などを歴任したのち2011年7月、代表取締役社長に就任。

石坂 信也

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
代表取締役社長

1966年生まれ。大学卒業後三菱商事へ入社。2000年同社退社後ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）を設立。同サイトは会員数180万人（2011年6月末）を超える日本最大級のゴルフ総合サイトに成長している。

米国留学が育んだ、 友情とビジネスマンの資質

郡:実際に交流が始まったのは1997年に私と石坂さんがビジネススクールに留学していた頃からでしたね。確か私が2年目の開始直前で石坂さんは1年目を始めるときだったと思います。私と大学院の同期だった方が、石坂さんともお知り合いで、その方のお宅にお邪魔した際にご紹介いただいたことを覚えています。

石坂:あの頃は当時勤務していた企業の社内留学制度を活用してビジネススクールに

通っていたので、学生気分に戻ってなんでも吸収しようとしていました。学友の家に呼ばれてお酒を飲んだり、郡さんとは勉強というよりはゴルフやスキーといったプライベートの話で盛り上がりましたね。

郡:私は中学生の途中からアメリカにいたので、教育課程によって特徴は違ってくるかもしれませんがが留学中にはいろいろなことを学びました。MBAに関して言えば、例えば財務諸表の見方などは、大学では工学専攻だった自分にとっては全く新しい知識で、ゼネラルマネージャーとしてビジネス全体を管理する上での基礎知識を習得する場にな

りました。

石坂:私も時間管理、プライオリティづけの方法などの知識や物事の見方といった部分には学ぶものが多くありました。郡さんもよくご存じだと思いますが、私たちがビジネススクールに通っていた時代はITが隆盛の兆しを見せていました。当然のようにITビジネスの授業は大人気で、それを2年目に受講したときの課題がビジネスプランについてのレポートを書くことでした。私自身は金融関連のビジネスをメインに考えていたため、IT方面ではなにか遊び心のあるテーマがなにかと探った結果、行き着いたものがゴルフでした。1999年に一度日本に帰国して、金融関連の仕事をしていた間もゴルフビジネスの構想は温め続けていたのですが、転機になったのはやはりインターネットビジネスです。その頃の日本はいわゆるネットバブルの時代で、早くからインターネットの可能性に着目していた私は、既存の金融事業のIT化に次々と着手していました。その中で大企業が担っているような大規模な事業の

IT化は、膨大なリソース管理による成長機会の損失など、リスクも伴っていることに気づかされました。その気づきがかえって、大企業がビジネスとして捉えていないゴルフというジャンルへの挑戦を後押ししてくれたと感じています。

郡:私はMBA取得後は西海岸に移り、サンフランシスコと東京で6年ほど経営コンサルタントをしていました。コンサルタントの最後の方は東京で国内向けの仕事をしていたが、自分のバックグラウンド、強み、グローバルな環境で仕事をしたいという希望は持ち続けていましたし、ずっと好意を抱いていたGEのような事業会社にもう一度戻ろうと思いました。当時のデルはすでにグローバルなPCメーカーでしたが、まだまだ勢いよく成長する過程でもあったことが入社の理由です。

入社後は、いくつかの役職を経て営業本部を統括することになりました。幸いにも私はGEという成熟した会社を経験していましたし、MBAで習得した理論や経営コンサル

ティングの知識もありました。当時デルの社内はまだ確立されていなかった、たとえば“小さい成功をほめる”というようなうまく勝てる仕組みをつくることができたのではないかと考えています。

経営課題を把握した ITソリューションの投入で、 成長軌道へ

郡:7月1日よりデル株式会社の経営者という立場になりましたが、改めて感じていることは、やはりデル・ジャパン1,600人の従業員に対する大きな責任です。特に現在のように会社が変わっているときには、黙っていてはお客様や市場にこちらの意図が伝わりませんから、デル・ジャパンとして私が先頭に立って情報発信していきたいと思っています。

石坂:自分の中でよく考え、幹部同士でも何度も話し合ったにもかかわらずそのアイデアが思っている以上に周りの人間に伝わらないという経験は私にもよくあります。しつこく同じことを言い続けられる忍耐強さは、

経営者としてのひとつの資質だと思います。真っ先にそれを意識していらっしゃることですので今後のデルさんの変革が楽しみです。

デルさんが変わろうとしているように、弊社も2011年7月には大きなシステムの入替えを行いました。私は11年間インターネットビジネスをやっていて、ITは気をつけないとコスト高になるということに早くから気づいていました。ですから成長に関しては、保守などにかかるITコストの割合を80〜90%から半分程度に下げて、人とITとサービスの面で攻めの投資ができる体質の会社になることがひとつのポイントだと考えています。

我々の認識では、デルさんはここ1年後で大きく舵を切られていると感じています。これまでの日本のITベンダは大企業志向でパートナーとして機能しづらかった面があるため、特にSmall and Medium Business（以下SMB）に向けて、クラウド、仮想化、その周辺のものをオープンな環境





で提供してくれることに期待感があります。

郡:ありがとうございます。今言われたSMBに対するフォーカスを失わないところ、そしてオープンなソリューションを提供することが、弊社の製品およびサービスの今後の戦略になります。

弊社が変わらなければならない部分は、ソリューションを提供するにあたってお客様がどのようにお困りなのかを今まで以上に理解する必要があるということです。過去のPC販売を主体としていたデルは、例えばノートブックであればモニターは何インチがよいか、ソフトウェアは何を導入するかといったかたちでお客様とご相談させていただいていました。しかし今後は、仮想化したいというお客様に対して「なぜ仮想化ですか」とお伺いする必要があるかもしれません。なぜなら仮想化の導入自体がお客様の目的ではなく、それを導入することによってコストを下げたり、PCルールの制約を無くすなど、なにかを得ようとされているからです。大半のお客様は仮想化を導入することが正しいはずですが、場合によってはデータ処理をアウトソースすることの方が有効かもしれません。SMBのお客様に最適な、実効性の

かといった部分に期待しているので、これは残念なことだと思います。

石坂:バブルと呼ばれる80年代から今に至る30年間は、自分たちが問題意識を持ってアクションを起こすということ自体を、教育、社会、政治などのどのフィールドでも求めてこなかったツケかもしれません。若い人たちにということ言えば、挑戦するということをやしとすることと、勝負欲をもっと奨励してあげることが大事なかなと思います。

郡:勝ちにこだわることもそうですが、私は勝手に限界を設けないことが重要だと思っています。できない理由を考えるのではなく、どうやったらできるのかを考え、ここまでならできるがこれ以上はできないという壁をつくらないことです。

実は私自身の野望も、石坂さんにゴルフで3回に1回は勝てるようになることです(笑)。それがダメなら同じ年頃の子供がい

まずSMBに触れると、弊社はこれまでの歴史から、SMBのお客様への直接的な販売チャネルを持っていますし、御社のようなミッドマーケットに当てはまるソリューションの提供が他のITベンダとの差別化にもつながります。我々はミッドマーケットにおいてアフオーダビリティ(高嶺の花ではないIT)とシンプルさを意識して、お客様の求めるソリューションを提供していきたいと考えています。

もうひとつのオープン環境という部分については、弊社では、たとえばマルチベンダー環境のPC資産を管理するツールを多数用意しています。デルでは常にオープン、マルチベンダーで対応していなければならないことを強く意識しています。現在デル(米国本社)が買収している企業は、すべてマルチベンダー対応の技術を持っていることから私たちの意気込みが感じいただけるのではないのでしょうか。

デルは今変革期にあります。直接販売で、お客様に直にお話しできるという部分は今後も変えるつもりはありません。一方で、

高いソリューションを提供する“Trusted Advisor”として、お客様の経営課題を理解し、的確なITソリューションを提供する体制作りを強化していきたいと考えています。

石坂:デルさんが定期的に開催されているイベントなどで物理的に集まって、SMBであればSMBクライアント同士が交流しながら、なにかを学べるような企画を実施するのもいいかもしれませんね。仮想サーバを導入したいお客様に「どうして」と直接聞くようなやりとりは、こういう会合やゴルフを通じて頻出すると思います。ゴルフのセッティングは私がしますので、良いソリューションがあれば、ぜひセッションの機会をつくって我々を刺激してもらいたいです。

挑戦し続けるモチベーションが、日本の未来を創る

郡:これはぜひ石坂さんとお話したいと思っていましたが、最近日本人がMBAを取得する数や留学する数が減っているそうです。私はこれからの若い人たちには、日本人としていかにグローバルな舞台で勝負する

るので、親子ペアでは絶対に負けられないようにしたいですね。

石坂:チャレンジするモチベーションを自分たちの子供に持たせるためには、ゴルフはいいかもしれません。郡さんとはせっかく同じ趣味を持っているので、海外で一緒にゴルフの旅をしてみたいですね。老後でなくても、ゴルフを海外で楽しむといったように、ゆとりある人生があると思えばこそ、仕事も真剣に勝負できると思います。日本もこういうメリハリの効いた生活ができる国になっていけるチャンスがあるし、そうなっていけたらなと思います。



ソリューションを導入すれば 何が劇的に変わるのか？



このカタログでは、著しいスピードで成長を続ける中規模企業に最適な3つのソリューションをご紹介します。

モバイル ソリューション

P05

データストレージ ソリューション

P07

システム仮想化

P09

ビジネスの成長を支えるべく設計された最新のハードウェア、ソフトウェア、サービス、およびリースを提供しています。デルでは、お客様が実現されたいことを、コンサルティングを通じて、ご要望に応じた製品、サービスの最適な組み合わせでソリューションをご提案いたします。

デルの担当がお客様の既存のハードウェアに関する情報を収集し、お客様の環境を見直して、インフラストラクチャを最適化するための方法をご提案します。

Solutions

モバイルソリューション

多くのモバイルワーカーを抱える
ビジネスに対応

Solutions



管理性とセキュリティに優れた環境を作り出す、 統合されたモバイルソリューション

クライアントのハードウェアやソフトウェアの資産情報を入手するのに、無線LANで接続されたノートパソコンの場合、そのノートパソコンがどこにあるかまず突き止めなければならず、大変手間のかかるものでした。

WiFi対応のIntel® Centrino® Advanced-N6205(802.11a/b/g/n)を搭載したLatitude E6220は、幅広いエリアで確実にネットワークに接続でき、消費電力も最小限に抑えられています。さらにインテル® Core™ i5 vPro™ プロセッサーを選択すれば、ハードウェア・アシストによるリモートからのシャットダウン、ウェイクアップ、アップデートをサポートし、夜間メンテナンスにおける電力コストの削減が可能*1になります。さらに紛失や盗難の際にはハードウェア・レベルでPCを無効化できるインテル® アンチセフト・テクノロジー*2でPCをプロテクトすることができ、資産管理の手間を大幅に削減することができます。



デルは、最新のモバイルプラットフォームを接続・管理できるWiFiソリューション(Power Connect Wシリーズ)もご提供しています。このソリューションなら、クライアントPCとWiFiのアクセスポイント(AP)を集中管理できるので、日常の煩雑な管理業務の効率化を実現できます。

さらに、スマートフォンの社内利用にも便利な、AP間の移動の際に、セッションの張り直しを必要としない、ローミング機能・端末からアクセスをAPで振り分けるバランシング機能も搭載されており、アクセスの集中による通信の劣化を防ぎます。

今すぐ、営業担当にご連絡ください

経験豊富なプロフェッショナルが支援します！

お問い合わせ ☎ 0120-912-118 | CSMBセールス本部
首都圏営業第1課 藤本秀雄



計画とソリューション選定：ソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナル

導入の検討や計画はこれから、計画中でソリューション選定や施策の検討中、具体的な時期策定や予算確保をしたい、等々、アプローチが具現化していない／しているにかかわらず、ご相談をお寄せください。デルのソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナルがアドバイスします。

ソリューション導入と支援：インフラストラクチャコンサルティングサービス

デルのソリューションサービスデリバリー部門のソリューションアーキテクト・テクニカルコンサルタント・プロジェクトマネージャが豊富で実践的なノウハウとスキルを提供。ソリューションの効率的・効果的導入に向け、環境把握、課題の洗い出し、適切なハードウェア・ソフトウェア・ソリューション選定～導入のプロセスで、お客様のニーズに見合ったサービスをモジュールで提供。お客様の予算と必要に応じたサービスモジュールをご選択いただけます。



Dell Latitudeは、スピードアップをもたらすはっきりスマートなパフォーマンスでビジネスを支援する、第2世代インテル® Core™ i5 vPro™ プロセッサーを搭載しています。

*1：インテル® AMT に対応したチップセット、ネットワークハードウェア、ソフトウェアを搭載し、インテル® AMT の機能が有効化されたシステムが、企業LAN に接続されている必要があります。ノートブックPC の場合、ホストOS ベースのVPN 上や、ワイヤレス接続時、バッテリー駆動時、スリープ時、ハイバネーション時、電源切断時には、インテル® AMT を利用できないことや、一部の機能が制限されることがあります。実際の結果はハードウェア、セットアップ、構成によって異なります。詳細については、<http://www.intel.co.jp/jp/technology/platform-technology/intel-amt/> を参照してください。
*2：すべての条件下で絶対的なセキュリティを提供できるシステムはありません。インテル® アンチセフト・テクノロジーを利用するには、同テクノロジーに対応したチップセット、BIOS、ファームウェア、ソフトウェアを搭載したシステムと、同テクノロジーに対応したサービス・プロバイダーのサービスへの加入が必要です。対応状況と機能については、各システムメーカーとサービス・プロバイダーにお問い合わせください。データやシステムの紛失や盗難など、サービス利用の結果生じたいかなる損害に対してもインテルは責任を負いません。詳細については、<http://www.intel.com/go/anti-theft/> (英語) を参照してください。

Solutions

データストレージ ソリューション

容量増加と多様化が進む
データ管理への提案

Solutions



The power to do more

より多くのデータを より少ないスペースで効率的に管理

包括的なストレージプランなしでは、重要なデータを十分に管理できなくなる可能性があります。デルのストレージソリューションにより、データ容量を効率的に管理しながら、重要なデータを適切に管理することが可能になります。



データ容量を効率化するソリューション

デルの重複排除ソリューションは、重複するデータの保存を排除することにより、ストレージ容量の最適化とバックアップおよびリストア時間の短縮を実現します。これにより、テープバックアップや重複排除を用いないディスクバックアップと比べて、データのリストア時間を大幅に短縮することが可能になります。

ストレージの統合

iSCSIストレージ Dell EqualLogic™ PSシリーズは、優れたパフォーマンスと信頼性、インテリジェントな自動化機能、および仮想化環境との高い親和性を備えています。また、PowerVault™ストレージシリーズに新たにMD3600iシリーズが追加されたことでより幅広いニーズに対応が可能となりました。増大し続けるパフォーマンス要件への対応や導入・運用の柔軟性など、お客様の様々な課題に対して最適なソリューションをご提案します。

今すぐ、営業担当にご連絡ください

経験豊富なプロフェッショナルが支援します！

お問い合わせ



0120-912-118

CSMBセールス本部
首都圏営業第二課 黒木祐介



→ 計画とソリューション選定：ソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナル

導入の検討や計画はこれから、計画中でソリューション選定や施策の検討中、具体的な時期策定や予算確保をしたい、等々、アプローチが具現化していない／しているにかかわらず、ご相談をお寄せください。デルのソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナルがアドバイスします。

→ ソリューション導入と支援：インフラストラクチャコンサルティングサービス

デルのソリューションサービスデリバリー部門のソリューションアーキテクト・テクニカルコンサルタント・プロジェクトマネージャが豊富で実践的なノウハウとスキルを提供。ソリューションの効率的・効果的導入に向け、環境把握、課題の洗い出し、適切なハードウェア・ソフトウェア・ソリューション選定～導入のプロセスで、お客様のニーズに見合ったサービスをモジュールで提供。お客様の予算と必要に応じたサービスモジュールをご選択いただけます。



Solutions

システム仮想化

あなたが働くのは
オフィスの中だけではないから

Solutions



常にビジネスに対応できるよう、 いつでもアクセス可能な環境を

今日、モバイルソリューションはますます増加しています。それに伴い、分散するリソースの厳密な管理、およびグローバル間でやり取りされる重要なデータの保護のニーズが高まっています。厳重なポリシーに従って社員のデータのセキュリティを確保したい場合も、環境の生産性向上のためにデータを一元化したい場合も、デルのクライアント仮想化ソリューションがお役に立ちます。



常に稼働するプラットフォームを提供するためには、サーバ・ストレージの仮想化が不可欠です。仮想化によるアプリケーションのパフォーマンス向上・データバックアップの自動化・高可用性確保は、単に管理が容易になるという以上の価値をビジネスにもたらします。デルは、グローバルの経験・知識に基づいた豊富な導入事例を有しています。さらに、仮想化ソフトウェアを提供している企業とも、強固なパートナーシップを維持しており、お客様のさまざまなご要望にお応えできます。

仮想化ソリューション導入のノウハウとナレッジはこちら

http://www.dell-portal.jp/smb/dell_vm.html

今すぐ、営業担当にご連絡ください

経験豊富なプロフェッショナルが支援します！

お問い合わせ

☎ 0120-912-118 | CSMBセールス本部
首都圏営業第三課 範娟



計画とソリューション選定：ソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナル

導入の検討や計画はこれから、計画中でソリューション選定や施策の検討中、具体的な時期策定や予算確保をしたい、等々、アプローチが具現化していない／しているにかかわらず、ご相談をお寄せください。デルのソリューションエキスパート・ソリューションプロフェッショナルがアドバイスします。

ソリューション導入と支援：インフラストラクチャコンサルティングサービス

デルのソリューションサービスデリバリー部門のソリューションアーキテクト・テクニカルコンサルタント・プロジェクトマネージャが豊富で実践的なノウハウとスキルを提供。ソリューションの効率的・効果的導入に向け、環境把握、課題の洗い出し、適切なハードウェア・ソフトウェア・ソリューション選定～導入のプロセスで、お客様のニーズに見合ったサービスをモジュールで提供。お客様の予算と必要に応じたサービスモジュールをご選択いただけます。



インテル® Xeon® プロセッサ 5600番台搭載のサーバなら、さまざまな世代のサーバを同一の仮想サーバプールに統合し、フェイルオーバー、負荷分散、障害回復の機能を柔軟に運用できます。



事例紹介

・サーバ/ストレージ仮想化
・iSCSIストレージ

Case Study

Exchange Server 2010を導入し 社内コミュニケーション基盤を刷新 デルのコンサルティングによるサポートで 信頼性／拡張性を有したシステムを実現

ゴルフファアであれば知らない人がいないと言われる、ゴルフ用品のオンライン販売やゴルフ場の予約、関連コンテンツの配信といったサービスを提供する「ゴルフダイジェスト・オンライン」。サイトを運営する株式会社ゴルフダイジェスト・オンラインは、2010年から基盤とマネジメント基盤の整備を目的とした3カ年計画「G10プロジェクト」に着手。利用者に対するサイトの利便性向上を図る一方、社員間のコミュニケーション活性化を目指し、ホスティングしていたメール・システムをオンプレミスに切り替えることを決断した。選択したのが、Exchange Server 2010を選定した上で、システムの設計から導入までグローバル・インフラストラクチャ・コンサルティング・サービスを提供するデルと共同で実施するというものだった。



「これから社員が有用なコミュニケーションを行っていくような基盤を整備していくにあたり、今回のプロジェクトの経験を踏まえ、今後もデルにも協力を依頼していきたいと考えています」

システム設計のフェーズでは、デルのテンプレートに私たちの要件をあてはめるかたちで作業を進めましたが、その種類の豊富さからデルが蓄積する経験とノウハウの豊かさを肌で感じることができました」

株式会社
ゴルフダイジェスト・オンライン
システム部 部長 渡邊信之氏

社員間コミュニケーションの活性化を目指し、 メール・システムの再構築を決断

ゴルフ用品のオンライン販売等を行う「リテールビジネス」、ゴルフ場の予約、ゴルフ場向けASPを展開する「ゴルフ場ビジネス」、関連コンテンツの配信やモバイルビジネス、広告ビジネス等の「メディアビジネス」の3つの事業を柱にした、株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン（以下、GDO）。「ゴルフで世界をつなぐ」ことをコーポレート・ミッションに掲げ、2000年の設立以来、ゴルフ専門の総合Webサイト「ゴルフダイジェスト・オンライン」を運営。ゴルフファアが求める「見る・買う・行く・楽しむ」を満たすべく多彩なサービスを提供してきた。

同社が2010年から着手したのが、IT基盤とマネジメント基盤の整備を目的とした3カ年計画「G10プロジェクト」。GDOのシステム部部長の渡邊信之氏は「GDOの最大の強みは、物販と予約、各種コンテンツの配信というゴルフファアが欲するサービスをワンストップで提供できる点。G10プロジェクトでは、この強みを生かしつつ、利用者の利便性を向上させるため、予約検索エンジンの刷新等、Webサイトの強化を推進してきました」と説明する。

G10プロジェクトでは対顧客向けの利便性だけでなく、社内業務システムの改善も視野に入れている。その中で、社員がより密な情報のやりとりを可能とするためのコミュニケーション基盤の改革の実現が挙げられ着手したのが、メール・システムの改善だった。これまでは、インターネット・サービス・プロバイダーによって提供されるホスティング型のメール・サービスを利用していたが、メール・アドレス追加をはじめ、パスワード等各種設定変更の煩雑さ、アカウントごとに課金される膨大な利用料の発生、といった問題点が上がっていた。

「セキュリティの面で、社外からのメール確認を禁止していましたが、経営層を中心に社内の人間から、移動中にメールをチェックできないかとの改善要望が頻繁に寄せられていました。また、増え続けるスパムメールへの対処、メールを介した情報漏えいを防ぐための仕組みも求められていました」（渡邊氏）

これらの課題解消のため、メール基盤の刷新を決意。検討を重

ねた結果、最新のメール・システムをオンプレミスで運用する方針を2009年8月に固めたのである。

次世代のコミュニケーション基盤として Microsoft Exchange Server 2010を選定

刷新に際してGDOが目指したのは、スマートフォンなどの各種デバイスにより、どこにいてもメールや音声通話など様々な手段で連絡がとれ、相手の状況までひと目で確認できる環境。理想とするコミュニケーション基盤の構築に向け、安全性と信頼性の高さ、そして将来的な拡張性等を有したシステムの実現をプロジェクトの目標に設定し、採用されたのがマイクロソフトのメッセージング&コラボレーション・ソリューション「Exchange Server 2010」だった。

高度な情報漏えい防止機能やコンプライアンス機能を備え、かつユニファイド・コミュニケーション環境も実現できるなど将来的な拡張性が極めて高いこと、そして従来から同社がメール・クライアントとして「Microsoft Outlook」を利用してきたことから、移行後も違和感なく利用できると見込まれたことがその理由だ。

GDOのシステム部ネットワークソリューションチームの田中秀和氏は、「経営層にExchange Server 2010をはじめ、ユニファイド・コミュニケーション・システム『Microsoft Lync Server 2010』等、マイクロソフトのコミュニケーション製品群のデモンストレーションを見てもらったところ、その将来的な可能性を高く評価、導入の承認を取り付けることができた」と説明する。

もともと、多様なマイクロソフト製品との連携を前提としたメール・システムの構築のため、ベンダーの選定には苦労を強いられたという。ベンダーに提案を依頼しても、すべてのマイクロソフト製品の導入に対応できるとの返答が得られなかったからだ。そうした折、マイクロソフトから紹介されたのがデルだった。

「デルとは以前から付き合いがあり、製品力の高さは当初から理解していました。また、あらゆるマイクロソフト製品を網羅した豊富な導入事例を目にし、高いシステム構築力も兼ね備え、安心して構築を依頼できると確信。また、当社は2年前にライセンスの一元管理を目的にMicrosoft Enterprise Agreement (EA) プログラムをデ

GDO

株式会社 ゴルフダイジェスト・オンライン

ルから購入しており、私たちにとって最適なボリューム・ライセンス・プログラムの提供を受けられることも考慮し、2010年8月、システム構築ベンダーとしてデルを選定したのです」（田中氏）

システムの困難なカスタマイズも デルの豊富なノウハウで対応

メールはビジネスに必須のコミュニケーションツール。しかも、Exchange Server 2010はこれから発展を遂げるGDOのコミュニケーション環境の基盤に位置づけられ、その構築にあたっては堅牢性やROIへの十分な配慮が必要となる。

そこで、GDOはデルのグローバル・インフラストラクチャ・コンサルティング・サービス（GICS）のコンサルタントとシステム設計について議論し、サーバ製品には本番系に「PowerEdge R710」をHA構成で2台、待機系に「PowerEdge R610」を1台、さらにストレージにはスケールアウトによる高い拡張性を有する「EqualLogic P56000XV」を導入を決定した。さらに、今回導入されたExchange Server 2010は、Windows Server 2008 R2 Hyper-Vによる仮想化プラットフォーム上に構築され、仮想化による柔軟性と拡張性の確保、初期導入コストの抑制が図られている。また、「Symantec Backup Exec 2010」による統合バックアップ基盤の整備も設計に盛り込まれた。

「システム設計のフェーズでは、デルのテンプレートに私たちの要件をあてはめ、作業を進めたが、その種類の豊富さからデルが蓄積する経験の豊富さを感じました。他社の事例を踏まえ、デルからシステムの細かな設定ノウハウまで提供されたほです」（渡邊氏）

実際の構築過程では要件変更が発生し、作業は一筋縄ではいかなかったという。苦労を要したのが役員のスケジュールを非公開にする作業である。

当初、GDOでは社長を含めすべての社員のスケジュールを公開する予定だったが、作業終盤で役員のスケジュールを非公開にするよう指示があった。単純な設定変更だけでは秘書がスケジュールを確認できず、業務に支障が出るおそれがあった。この問題解決のため、GDOはデルとマイクロソフトの協力を仰ぎつつ打開策を検討。設定方法について試行錯誤を繰り返した。辿り着いた「解」が、秘書が役員のスケジュールを入力するよう業務を見直し、秘書を「招集者」としてすべての役員のスケジュールを管理できる権限を付与したのだ。

「役員からの要請は、システムのにも対応が極めて困難なものでした。そのため、対応をあきらめかけたことも。何とか状況を打開できたのも、デルとマイクロソフトに知恵を絞ってもらえたからこそです」（田中氏）

OWAでのメールのリモートアクセスで 自宅待機時にも社員間で情報を密共有

新システム構築作業の完了は2010年12月。その後、社員に対して新システムへのスケジュールの入力を促すとともに、クライ

アントPCの設定変更をシステム部門が総出で取り組むなど、準備作業を進めていった。

「スケジュール機能の変更に伴い、発生しがちな会議室のダブルブッキングなどが起こらないよう、移行作業には慎重を期しました。個々のPCの設定変更まで行ったのも、社員にストレスを与えることなく新システムの利用環境を整えるためです」（渡邊氏）

そして新システムは本番稼動を開始。その効果は、2011年3月に東日本大震災が発生したことで顕在化することになった。社員を1週間にわたり自宅待機させることを余儀なくされたが、Outlook Web App (OWA) によるメールへのリモートアクセスにより、待機期間中も社員が互いに連絡を取り合いながら仕事を進められたという。GDOのシステム部ネットワークソリューションチームでマネージャを務める高橋敏明氏は、「非常時であっても柔軟なコミュニケーションが可能なOWAのメリットが社内に認知され、私たちもその効果に少なからず驚かされました」と語る。

また、サーバの運用を自社で行うようになったことで、設定変更に要する時間も大幅に軽減。併せて「Forefront Protection 2010 for Exchange Server」「Forefront Thread Management Gateway」の採用を通じてセキュリティも強化。その導入効果として社員が受け取るスパムメールも従来の10分の1にまで削減されたという。その他、「Active Directory Rights Management Services」を利用したメールによる情報漏えい防止に関しても、活用を検討しているところだ。

GDOでは今後、システムの機能強化により、社員がどこでも仕事に打ち込める環境を実現する考えだという。そのための仮想デスクトップやテレビ会議などの新たなITの活用や、社員へのリテラシー教育も2012年の上半期までには完了させる計画である。

「社員がどんな環境で、何を使って仕事をするのかを理解することが製品選定にとって重要です。そこで、社員が互いに共感しつつ仕事に注力できる仕組みを整備する計画。その実現にあたり、マイクロソフト製品は最有力のツールの1つであり、導入に当たってはデルに協力を依頼することになるはずです」（渡邊氏）

GDOでは当初、今回のプロジェクトは規模の大ききから、進捗に遅れるだろうと予想していた。しかし「予想は見事に覆されました」と渡邊氏は強調する。GICSのスキルレベルが当初想定以上に高かったことと、導入後も各種の助言を行うなど、デルのエンジニアの対応が大きかったという。これらのことを踏まえ、渡邊氏はデルに対して次のような期待を寄せている。

「今回のプロジェクトを通じ、デルには私たちのシステム環境と将来構想の双方を理解してもらえたはず。システムにはこれからも継続的に手を加えていきますが、デルにはシステム開発における今後の方向性や採用すべき機能などについてぜひとも提案をしてもらいたい。ともに試行錯誤しつつ、システムの高度化に取り組むパートナーとして今後も協力関係を築いていければと考えています」



「制限付きですが、メールのリモートアクセスも行えるような環境を整備、震災による自宅待機期間中も社員同士が密に連絡を取り合ったことで、業務にその影響はほとんど影響はありませんでした」

株式会社
ゴルフダイジェスト・オンライン
システム部
ネットワークソリューションチーム
田中秀和氏



「あらゆるマイクロソフト製品を網羅した豊富な導入事例など、デルは単なるハードウェアベンダーではなく、高いシステム構築力も兼ね備えていることが確認でき、安心して構築を依頼することができました」

株式会社
ゴルフダイジェスト・オンライン
システム部
ネットワークソリューションチーム
マネージャ 高橋敏明氏

PowerEdge R710は、インテル® Xeon® プロセッサ5600番台にも対応



インテル®Xeon®プロセッサ5600番台は、アプリケーションの要求に応じて自動的に消費電力を調整し、スマートにサーバーのパフォーマンスを制して自動的に消費電力を調整し、スマートにサーバーのパフォーマンスを制御。電力効率と性能をさらに高い次元で実現しています。優れた電力効率と性能を両立させるカギは、インテルの新しい32nmプロセス技術に基づく拡張版インテル®マイクロアーキテクチャNehalemにあります。この最新のアーキテクチャを採用したインテル®Xeon®プロセッサ5600番台は、必要な性能を確保しながらプロセッサとメモリーを最小限の電力コストで自動的に移行させる、インテル®インテリジェントパワーテクノロジーを搭載しています。旧世代のシングルコア・プロセッサに比べて最大15倍の性能とハードウェアによる仮想化支援機能を備えた、インテル®Xeon®プロセッサ5600番台搭載サーバーは、IT資産の利用効率向上、グリーンITの推進、IT投資のROI向上に貢献します。TCOの削減と画期的な性能を同時に実現するインテル®Xeon®プロセッサ5600番台は、ビジネスの競争力を強化し、データセンターの経済性を刷新します。電力効率に優れたインテル®Xeon®プロセッサ5600番台搭載サーバーでIT基盤を更新すれば、将来の成長を見越した処理能力が得られます。電力コストも95%削減され、最短5カ月*で投資を回収することが可能です。

インテル®Xeon®プロセッサ5600番台は、革新的な機能によって性能の飛躍的な向上やサーバー統合比率の向上を実現し、サーバー統合の先にある仮想化の利点を拡大します。また、インテル®パーチャライゼーションテクノロジーFlexMigrationにより、異なる世代のプロセッサを搭載したサーバーが同一の仮想サーバープールに共存できるようになり、仮想マシンのフェイルオーバー、負荷分散、災害復旧の機能が向上します。

* SPECintb™ 2005 ベンチマークを用いた測定結果に基づく(2010年2月現在)インテル® Xeon® プロセッサ 3.80GHz(シングルコア、FSB800MHz、L2 キャッシュ 2MB)搭載2-way サーバーと、インテル® Xeon® プロセッサ X5680 搭載2-way サーバーの比較に基づく。計算には、パフォーマンス、電力、冷却、電気料金、OSの年間ライセンス料、推定サーバーコストに基づく分析も含む。表示価格やサーバー利用者の推定値に基づき、8kWのラック、電気料金0.10ドル/kWh、冷却コストはサーバーの消費電力コストの2倍、OSのライセンス料はサーバー1台当たり年間900ドル、サーバー1台当たりの価格は約2,000ドルと仮定。金額はすべて概算値。性能比較は、SPECintb™ 2005 ベンチマークを用いた測定結果に基づく(2010年2月現在)。プラットフォームの消費電力はベンチマーク実行中の負荷安定時とアイドル時に測定。コストや投資回収期間などの推定値はインテル社内で分析に基づいており、情報提供のみを目的としています。

カスタマー・プロフィール

企業名	株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン(GDO)
業種	インターネット総合ゴルフ事業
地域	東京都
設立	2000年
Webサイト	http://www.golfdigest.co.jp/

課題

インターネット・サービス・プロバイダーから提供されているメール・サービスを利用してきたが、柔軟な運用体制の確立、運用コストの削減、さらには社員間コミュニケーション基盤の向上を目指し、オンプレミスのメールシステムへ移行を検討していた。

ソリューション

デルのサーバ「PowerEdge R710」と仮想iSCSI SAN「EqualLogic P56000XV」で構成される新環境にマイクロソフトの「Exchange Server 2010」を導入。自社での運用に切り替えることで使い勝手を大幅に向上させた。

導入システム

ハードウェア

PowerEdge R710x2台
PowerEdge R610x1台
EqualLogic P56010XVx1台
PowerVault TL2000x1台

ソフトウェア

Windows Server 2008 R2 Hyper-V
Exchange Server 2010
Active Directory Rights Management Service
Forefront Thread Management Gateway
Forefront Protection 2010 for Exchange Server
Symantec Backup Exec 2010

導入効果

- 柔軟かつコストを抑制したメール・システムの運用環境を実現
- 将来的に拡張可能なコミュニケーション基盤を確立
- スパムメールを10分の1に抑制

軽い。薄い。そして、強い。

DELL Latitude E6220

堅牢なボディと、高度なセキュリティ、
高い生産性でビジネスを加速させる
高性能スタイリッシュPC。



***デル特急便とは？**
ご発注の多い構成の製品をあらかじめ製造し、国内にご用意しているため、最短1～3営業日でのお届けが可能。高品質・低価格・短納期の3つのお得をご提供いたします。詳細は0120-912-118へお問い合わせください。



デル特急便にて
出荷可能な商品
です。(*)

携帯性 -Portability-

最薄部約2.5cm、最小重量1.44kgで、12.5インチHD LEDディスプレイを搭載する軽量仕様。さらに持続時間約8.7時間のバッテリー搭載なので、持ち運びしやすく使用シーンも選びません。

セキュリティ -Security-

●ハードドライブの暗号化(オプション)、高速応答落下防止センサー等により、不測の事故からデータを保護します。●非接触型スマートカードまたは指紋認証リーダーにより、データへのユーザーアクセスを制御できます。

生産性 -Productive-

第2世代インテル® Core™ プロセッサファミリーを選択すれば、トップレベルのはっきりスマートなパフォーマンスを実現、さらに最大8GBの高帯域幅DDR3メモリ、およびインテル® UMAグラフィックスにより、ビジネスに適したスピードでマルチタスクを実行できます。また、バックライトキーボード(オプション)により、うす暗い環境でも快適に作業できます。

安全性 -Safety-

軍用規格適合の高耐久性Tri-Metal™を使用した設計で、上部カバー、角部、底部を強化。また、内部には防滴加工を施し、防水設計キーボード、LCDパネルを守るLCD保護シールなど、どのような作業環境でも安心してご使用いただける構造になっています。

フレキシブル&ハイパフォーマンス。

PowerVault MD3600f ファイバチャネルストレージアレイ

導入スピード、管理効率、拡張性、処理能力。
そのすべてが高水準。
企業の未来を託せる信頼のSANストレージ。



拡張性 -Extensibility-

PowerVault™ MD1200およびMD1220拡張エンクロージャにより、最大96台のHDDまたはSSDをサポート可能。また、最大64台のホストおよび無制限の仮想ホストをサポートできます。

パフォーマンス -Performance-

各コントローラに8Gb/sのポートを4基搭載することで、これまでのMDストレージアレイの2倍のパフォーマンスを実現。大量のデータ処理を行うアプリケーションに最適です。

管理 -Management-

ソフトウェアに内蔵された使いやすい機能により、短時間での設置が可能。MD Storage Managerは、ストレージ構成を徹底して管理したい専任のストレージ管理者だけでなく、パートタイムのシステム管理者にも最適です。

今すぐ、営業担当にご連絡ください

デルの担当がお客様の既存のハードウェアに関する情報を収集し、お客様の環境を見直して、インフラストラクチャを最適化するための方法をご提案します。

お問い合わせ

0120-912-118

CSMBセールス本部
関西営業課 松尾晃



デル ストレージ ポートフォリオ

SAN (Storage Area Network)

iSCSI (IP-SAN)	 PowerVault MD3200i	 PowerVault MD3600i	 EqualLogic PS4000	 EqualLogic PS6500	 EqualLogic PS6010	 EqualLogic PS6510	総合ストレージ 
ファイバチャネル (FC-SAN)	 PowerVault MD3600f						

NAS (Network Attached Storage:ファイル共有用ストレージ)

PowerVault NX200	PowerVault NX300	PowerVault NX3100	PowerVault NX3000	PowerVault NX3500
------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------

DAS (Direct Attached Storage:直接接続型ストレージ)

PowerVault MD1000	PowerVault MD1200	PowerVault MD3200
-------------------	-------------------	-------------------

データ保護

テープ	PowerVault LTO [LTO-5-149 HH LTO-4-120 HH LTO-3-080 HH LTO-3-060 HH]	PowerVault 114T/114X	PowerVault 124T	PowerVault TL2000	PowerVault TL4000	PowerVault ML6000
ディスク	PowerVault RD1000	PowerVault 114X	PowerVault DL2200	長期保管用途 DX6000		

デル サーバ ポートフォリオ : PowerEdgeシリーズ

ソケット数	タワー	ラック	ブレード	クラウド
4ソケット		R810 2U R910 4U	M910	
2ソケット	T410 T610 T710	R410 1U R510 2U R610 1U R710 2U	M710HD M710 M610 M610x	C6100 2U C5220 3U C2100 2U C1100 1U
1ソケット	T110 T110II T310	R210 1U R210II 1U R310 1U	シャーシ (M1000e)	



インテル® Xeon® プロセッサ 5600番台：自動的に消費電力を調整し、電力効率と性能を最大限に向上させます。